

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

9月

65期生宣誓式

9月18日 65期生宣誓式を挙行了しました。



ここ数年9月となっても残暑が厳しく冷房設備のない本校の体育館での実施が困難となったため、今年度は佐久総合病院にある教育ホールをお借りして実施しました。



長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院看護専門学校

いのちの学び ひとすじに sakukan@sakuhp.or.jp 0267-82-2474

2年生の登竜門である夏の看護過程実習を乗り越えて
宣誓式に臨むことになります。



3年生からオレンジの
サージュを頂きました。



佐久総合病院看護専門学校 誓詞

わたくしたち36名、看護の道をめざす者として、
今ここに誓います。

- 一、わたくしたちは、農村の人々とともに農村医学を学び、
その向上のために全力を尽くすことを誓います。
- 一、わたくしたちは、保健医療チームの一員として、
心より病める人びとのために、尽くすことを誓います。
- 一、わたくしたちは、いかなる時も、患者の秘密を絶対に
漏らさないことを誓います。
- 一、わたくしたちは、常に研究を怠らず、看護内容の
進歩改善のために努力することを誓います。

65期生 誓いのことば

私たち65期生は常に謙虚な姿勢で学ぶことで、患者さんやそのご
家族の思いに寄り添い、信頼される看護師になることを誓います。

来賓・学校関係者のご挨拶



学校長 渡辺 仁

これから、本格的な実習が始まります。患者さんに接する事で多くの学びがある反面、自身の非力さを感じる事があるでしょう。そういった時は、あまり悩まず、友人、先輩、スタッフを頼りましょう！

時代の流れと共に「戴帽式」から「宣誓式」に変化しましたが、目的は変わっていません。私からは看護師になるための3つの覚悟をお伝えします。

1. 厳しい労働環境への覚悟
2. 常に学び続ける覚悟
3. 責任感と倫理観を貫く覚悟

看護師になってからも何度も向き合う機会があります。今日の気持ちを思い出して前に進んでください。



JA長野厚生連 代表理事専務理事
望月 環 様

来賓・学校関係者のご挨拶



佐久市長

柳田 清二 様

校歌「白衣の道」の歌詞の中で、1番の尊き職を志し、2番では尊き職を誇りとしという部分がまさに看護学生が目指す道を表している。

私も当校の卒業生であり、先輩として祝辞を述べさせていただきます。

成長の過程で節を作り、やがてしなやかに強度を強める竹のように様々な経験をしましょう。

また、患者さんの状態を機械で見るだけでなく、五感で感じ取る事や、その人の暮らしを見てほしい。また、心が豊かになる体験をしてほしいです。



下伊那厚生病院 看護部長
伊井 友子 様

64期生祝辞(代読)



1年前の看護過程実習では、患者様は常に体調が良いとは限らず、そのような状況でも、患者様の気持ちや立場を理解し、最後まで誠実に関わり続ける姿勢の大切さを学びました。今後、実習で更に大変になりますが、困難に直面した時こそ、乗り越えた先に大きな成長があります。共に学び、支え合いながら頑張りましょう。

65期生答辞

看護過程実習では、自身が以前患者としてお世話になった病棟に学ぶ立場で伺うことになりました。自身が入院を経験した事で患者様が抱える不安や痛みに関心を寄せる事ができました。自らの経験を通して得た痛みや不安を、寄り添う力に変えていきたい。



全体写真

